

令和4年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ヴァナゾール医療センター医療機材整備計画」 贈与契約署名式の実施

令和4年12月21日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ヴァナゾール医療センター医療機材整備計画」（供与限度額：81,327米ドル（8,783,316円））贈与契約署名式が、アルメニア保健省において実施されました。本式典では、福島正則在アルメニア日本国大使とクリスティーナ・サルキシャン「アズナブール財団」CEOとの間で贈与契約への署名が行われ、アナヒト・アヴァネシャン保健大臣、ホヴァネス・アヴェティシヤン・ロリ州副知事、ヴァハン・ムクルチャン・ヴァナゾール医療センター長等が同席しました。

本計画は、ロリ州にあるヴァナゾール医療センターに病理検査用機器一式を整備することで、同センターの病理検査の体制強化を図り、同州をはじめ近隣州における医療水準を向上させることを目的としています。本事業の実施により、年間約5,000人の患者が裨益します。



福島大使のスピーチ



サルキシャン CEO（右から2人目）のスピーチ



アヴァネシャン保健相立ち会いの下に
行われた贈与契約への署名



左から福島大使、アヴァネシャン保健相、ムクルチャン・医療センター長、サルキシャン CEO